

地質ニュース

昭和50年4月

第248号

1975

解 説	富士山とカラマツと植物化石……………石 山 尚 珍 尾 上 雅 亨…1
	博物館の資料保存と調査研究 ～北海道開拓記念館の一例～……………北 川 芳 男…14
	北海道開拓記念館……………小 村 幸 二 郎…19
	地質調査所における地形図⑤～九州編～…地 形 課…26
資 料	世界の層状硫化物鉱床(その4) 始生代の塊状硫化物鉱床と火山岩の特徴……………佐 藤 壯 郎…30 兼 平 慶 一 郎
国際会議	第4回 IAGOD集會に出席して……………佐々木 昭…39
海外事情	ブルガリアの旅……………石 原 舜 三…44
	地 学 と 切 手……………P. Q…18
	学 会 掲 示 板……………29
	昭和49年度地質調査所の出版物……………58

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

三 疊 紀 の 菊 石 類 化 石

北上山地の南部地域にはシルリア紀より白亜紀までの各時代の地層が分布していて 各地層より各種の化石が今までに数多く見出されている。この化石は その1つ 宮城県石巻市の東部に分布する三疊紀 Anisicの稲井層群上部の伊里前層(稲井層)より出たもので

Hollandites japonicus (Mojsisovics)

とされている菊石類(アンモナイト)の仲間である。この標本の産地は石巻市井内^{いない}にあって 古くから土木建築石材“井内石”として織状砂質粘板岩の石切場として知られている所である。その採石に伴い ときおり各種の化石が出て 既に明治の初期より内外の多くの学者により古生物学上の研究が行なわれて来た地としても著名である。なお この動物の殻は もともと螺旋状円形のものであるが 標本のように楕円に変形していることは かつて 地殻の変動による側圧を受けたことを示しているのである。

(文 標本室 松原秀樹 写真 正井義郎) 写真の倍率1.2倍

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社